

「今後の久喜市の青年(青少年)教育・青年(青少年)活動の推進について(提言)」での提案内容について、生涯学習課がより多くの参加者や満足度向上のために取り組んでいることについてご報告します。

## 1 図書館事業

高校生や大学生等を対象とした事業は久喜市立図書館公式 LINE で情報提供し、小・中学生を対象とした事業は、学校を通じて図書館だよりやチラシ等で PR をしています。

また、学校の先生からの情報や図書館事業に参加した児童・生徒からのアンケートでの要望等を参考に、興味、関心を持ってもらえそうなテーマを選び、令和7年度はプログラミングや ChatGPT、勉強方法を学ぶ講座等を実施しています。

市内小学校と図書館が連携して、児童の図書館利用登録を行い、来館が難しい児童も電子図書館を利用できるようにすることで、いつでも、どこでも読書を楽しめるよう、読書活動を推進しています。

移動図書館で小学校を訪問し、本の貸出やおはなし会を実施する中で、児童や先生とコミュニケーションをとり、図書館に対する期待と要望を探っています。

## 2 子ども大学くき

子ども大学くきの学生募集では、広報くきや市公式 SNS (Line、X、facebook) のほか、テトルを活用し、保護者に広く周知をしました。

参加児童の在籍校には、子ども大学くきの入学式日程を伝え、多くの校長先生に入学式を見学いただきました。校長先生が見学に来られたことで、初めて参加する児童も安心感を得られると同時に、こどもの自己肯定感を高めることができました。

また、翌年度の参考とするため、翌年度以降の講義内容についてアンケートをとりました。

## 3 公民館事業(体育祭含む)

講座について広報くき、市公式 SNS、テトルにより、周知しています。

事業によっては、観光ボランティアやスポーツ推進員、食生活改善推進委員協議会などの専門家に依頼し、事業を開催しています。

また体育祭については、中学校に当日運営ボランティアのチラシを配布し、中学生ボランティアの協力を募っています。スポーツ少年団や地域活動団体にもボランティアとして協力いただいていることや、基本的には老若男女が楽しめる競技が中心であることから、スポーツ・ボランティアを通じて、中学生と大人の世代を超えた交流が行われています。